

別記様式

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	ブルーカーボン生態系による脱炭素化推進に関する研究委託
契約担当官等の氏名並びに所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 北陸地方整備局副局長 神谷 昌文 新潟市中央区美咲町 1 - 1 - 1
契約締結日	令和 7 年 6 月 26 日
契約の相手方の氏名及び住所	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 神奈川県横須賀市長瀬 3 - 1 - 1
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥ 19,994,700. -
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥ 20,009,000. -
随意契約によることとした理由	本業務は、北陸地域の港湾におけるブルーインフラ整備で造成したブルーカーボン生態系による脱炭素化を推進させるため、グリーンレーザー搭載ドローン・音響計測・水中撮影等によるデータを活用した高精度な藻場分布モデルを作成し、ブルーインフラ生態系の分布状況を把握するとともにCO2吸収効果や海域環境の維持・向上に資するブルーカーボン生態系の造成メカニズムについて確認するものである。 本業務実施に当たっては、下記の要件が必要となる。 ① 港湾内外のブルーカーボン生態系によるCO2吸収量を計測・算定する高度な知見と計測・解析技術を有すること。 ② グリーンレーザー搭載ドローン等の高精度なリモートセンシング観測に関する知見・観測技術及び蓄積されたデータを保持し、CO2吸収源となるブルーカーボン生態系を面的に把握する研究実績を有すること。 ③ 物理・生物・化学的な環境データを基盤とした数値モデルにより藻場分布を予測計算する技術を有し、港湾における解析結果の検証を行うことができる高度な知見を有すること。 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所は、下記のとおり要件を満たす高い能力を有している 港湾内外のブルーカーボン生態系によるCO2吸収量を計測・算定する高度な知見と計測・解析技術を有している。 また、グリーンレーザー搭載ドローン等の高精度なリモートセンシング観測に関する知見・観測技術及び蓄積されたデータを保持し、CO2吸収源となるブルーカーボン生態系を面的に把握する研究実績を有している。 上記実績に加え、物理・生物・化学的な環境データを基盤とした数値モデルにより藻場分布を予測計算する技術を有し、港湾における解析結果の検証を行うことができる高度な知見を有することから、総合的にCO2吸収効果や海域環境の維持・向上に資するブルーカーボン生態系の造成メカニズムについて確認することができる。と判断できる。 また、本業務の発注にあたり、参加希望の有無を公募により事前確認を行ったが応募者はいなかった。

	以上のことから、同法人は、本業務を効率的且つ確実に実施する唯一の機関であると判断されるので、会計法第29条の3第4項「契約の性質又は目的が競争を許さない場合」に基づき、国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所と随意契約するものである。
備 考	